

基本目標2 「育み・学び・思いやり」の質の高いまち

分野別政策4 子どもが健やかに育つ環境の整備

**施策 No. 12 子育て支援の充実**

**10年後のめざす姿** 多様な子育て支援サービスの確保・提供や、地域全体で子どもを支える取り組みにより、子育てと仕事が両立でき、安心して子どもを産み育てられる環境が整っています。

住みよさ指標	当初	単位	実績値の推移					目標値 (H37)	評価	
			H28	H29	H30	H31	H32			
1 「子育てのしやすさ」に関する市民満足度	19.2	%	目標値	20.0	20			22.0	25.0	↘
			実績値	13.6						
2 合計特殊出生率	1.11	0	目標値	1.20	1.30			1.60	1.80	↗
			実績値	1.15						
3 乳幼児健康診査受診率	95.6	%	目標値	95.8	95.8			96.0	96.5	→
			実績値	95.6						
4 保育所待機児童数	0	人	目標値	0	0			0	0	○
			実績値	0						

総合評価	住みよさ指標の状況
<b>C</b>	<p>「子育てしやすさ」については、市民意識調査の結果において、満足度の数値が低下しているが、各施策における主な事業は、目標どおりの成果が上がっている。</p> <p>合計特殊出生率については、目標値には届いていないが、少しずつ向上している。ただし、分母となる女性の人口が減少していることや出生数が増加していないことから楽観視はできない。</p> <p>乳幼児健康診査の受診率は、95%を超える水準にあり、ほぼ横ばいで推移している。</p> <p>保育所の待機児童数(4月1日現在)は、目標であるゼロを達成している。</p>

**施策を構成する事業の状況**

子ども・子育て総合センターあいつくを中核として、各種事業を展開し、在宅の子育て世帯を中心とした支援の充実を図った。

待機児童対策として、私立幼稚園の認定こども園への移行を促進した。

病後児保育を病児保育に拡充した。

乳幼児健康診査(4ヵ月・1歳7か月・2歳6か月・3歳6か月)を実施し、疾病の早期発見と子育て支援を実施している。

子ども医療助成事業及びひとり親家庭等医療助成事業を継続実施している。

<b>これまでの取り組み</b>	<p>あいつくの事業を拡充するとともに、あいつくに来れない家庭などに対して、それぞれの地域へ出向く事業や地区福祉委員などで実施している子育てサロン等の事業に参加するなどの取り組み実施している。また、小中学校と連携し、「命はぐくむ交流授業」の実施回数の拡充を図った。</p> <p>これまで病気の回復期に限定していた病後児保育事業を病気の治療中であっても預かれるようにH28年度に病児保育事業に拡充を図った。</p> <p>待機児童対策として、保育定員拡充のための整備事業や私立幼稚園の認定こども園への移行推進を図ってきた。</p> <p>子ども医療助成事業においては、H27年度に通院医療費助成を中学3年生にまで拡充した。</p> <p>乳幼児健康診査の内容の充実や、環境の整備に努めてきた。</p>
<b>課題 (めざす姿との差)</b>	<p>乳幼児健康診査の啓発と、未受診者への受診勧奨の強化、虐待予防への取り組みの充実</p> <p>限られた財源で必要な子育て支援サービスを確保し続けていくために、子育て支援事業の見直しが必要となっている。</p>
<b>今後の方向性</b>	<p>子ども医療費助成の対象年齢の引き上げについて、府内市町村の動向を含めて調査研究が必要である。</p> <p>あいつくの事業等の見直しを検討する。</p> <p>乳幼児健康診査の受診率の向上と、健診内容の充実を図る。</p>